

「地域課題分野」(平成27年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
堤防の三次元構造と降雨・水位の浸潤履歴が及ぼす堤体の不安定化に関する研究 (研究期間：H27年～H29年)	中部大学 杉井 俊夫	B
<研究概要> <p>本研究は、堤防の三次元構造を把握すると同時に物性値をも考慮して堤防の安定性を評価すること、また降雨履歴、水位履歴の浸潤履歴が及ぼす浸透過程への影響を明らかにして、堤体の不安定化を解明する技術を目的としており、(1)堤体縦横断面の構成の把握と土質物性値の推定のための室内での基礎実験及び現地試験の実施、(2)粒子移動による流出・目詰まり機構の解明および湿潤履歴による土質材料の変化に関する室内実験、(3)5分の1のスケールの堤防試験盛土湛水実験により、水分量の三次元モニタリングを行った。</p>		
<事後評価コメント> <p>堤体の3次元構造など不安定化に関わる要因を多角的に検討されていることから、研究目的を概ね達成する一定の成果が得られたと言える。今後は、断面の可視化、土粒子移動と目詰まりの可能性、水分量の3次元モニタリングの3つの研究成果をさらに統合して実用性を高めることを期待する。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い